

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	微積分Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0060		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		ビジネスコミュニケーション学科		対象学年		3	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		教科書は指定しない。					
担当教員		杉山 武史					
到達目標							
①1変数関数の高階導関数を求めることができる。 ②2変数関数の極値を求めることができる。 ③積分の計算ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		1変数関数の高階導関数の求め方を学習する。多変数関数の微分・積分について学習する。					
授業の進め方・方法		講義・演習の形式で授業を行う。 中間試験・期末試験合わせて100%にて評価し、60点以上を合格とする。					
注意点		問題を数多く解き、概念の理解に努めること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1 変数関数の高階導関数とマクローリン展開 (1)		1 変数関数の高階導関数とマクローリン展開。		
		2週	1 変数関数の高階導関数とマクローリン展開 (2)		1 変数関数の高階導関数とマクローリン展開。		
		3週	多変数関数の偏微分 (1)		偏導関数。		
		4週	多変数関数の偏微分 (2)		偏導関数。		
		5週	2変数関数の極値 (1)		2変数関数の極値。		
		6週	2変数関数の極値 (2)		2変数関数の極値。		
		7週	条件付き極値問題 (1)		ラグランジュの未定乗数法。		
		8週	条件付き極値問題 (2)		ラグランジュの未定乗数法。		
	4thQ	9週	重積分 (1)		重積分の計算。		
		10週	重積分 (2)		重積分の計算。		
		11週	微積分演習 (1)		積分法の総合演習。		
		12週	微積分演習 (2)		積分法の総合演習。		
		13週	微積分演習 (3)		積分法の総合演習。		
		14週	微積分演習 (4)		積分法の総合演習。		
		15週	総合演習		期末試験の解説。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	数学	簡単な場合について、関数の極限を求めることができる。		3	
				微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求めることができる。		3	
				積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求めることができる。		3	
				合成関数の導関数を求めることができる。		3	
				関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかくことができる。		3	
				極値を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。		3	
				簡単な場合について、関数の接線の方程式を求めることができる。		3	
				2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べることができる。		3	
				不定積分の定義を理解し、簡単な不定積分を求めることができる。		3	
				置換積分および部分積分を用いて、不定積分や定積分を求めることができる。		3	
				定積分の定義と微積分の基本定理を理解し、簡単な定積分を求めることができる。		3	

				簡単な場合について、曲線で囲まれた図形の面積を定積分で求めることができる。	3	
				2変数関数の定義域を理解し、不等式やグラフで表すことができる。	3	
				合成関数の偏微分法を利用して、偏導関数を求めることができる。	3	
				簡単な関数について、2次までの偏導関数を求めることができる。	3	
				偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。	3	
				2重積分の定義を理解し、簡単な2重積分を累次積分に直して求めることができる。	3	
				2重積分を用いて、簡単な立体の体積を求めることができる。	3	
				簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。	3	
				1変数関数のテイラー展開を理解し、基本的な関数のマクローリン展開を求めることができる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0